

高等学校 家庭基礎・家庭総合	未来を支える ローン・クレジットの理解と金融トラブルへの対策 (2025. 9)
---------------------------	--

1. 本時の位置付け

本時は、高等学校学習指導要領(平成30年告示)及び同解説に記載されている以下の内容の一部と関連します。

展開①	【借りる】 ローン・クレジット、奨学金	家庭基礎 C(1) イ 生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージや社会保障制度などと関連付けて考察すること。 <解説> ・可処分所得や非消費支出の分析など具体的な事例を通して、家計の構造を理解する ・ライフステージに応じた住生活や適切な住居の計画において、住宅ローンに関する費用と関連付ける
展開②	【注意】 金融トラブル	家庭基礎 C(2) ア 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理できること。 イ 自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について考察し、工夫すること。 <解説> ・消費者被害の未然防止の重要性について理解できるようにする ・国民生活センターや各自治体における消費生活センターについて取り上げ、その役割や機能についても理解できるようにする ・契約や消費者信用、多重債務問題など現代社会における課題を中心に取り上げ、生徒の生活体験などを踏まえて問題を見いだすことができるよう工夫する

また、金融リテラシー・マップとの関係では、「分類4 金融分野共通」、「分類6 ローン・クレジット」、「分類8 外部の知見の適切な活用」の学習内容を含んでいます。

2. 本時の目標

- ・住宅ローンや貸与型の奨学金などのローンの仕組みについて理解する。
- ・金融トラブルに対処できる具体的方法を学び、解決やトラブルの防止の実践に向けて考え、工夫する。

3. 評価のポイント

- ・住宅ローンや貸与型の奨学金などのローンの仕組みについて理解している。
- ・金融トラブルに対処できる具体的方法を学び、解決やトラブルの防止の実践に向けて考え、工夫している。

4. 本時の流れ ※「学習活動」及び「指導上の留意点」の#は、標準講義資料のスライド番号を示している。

	テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は生徒の活動)	指導上の留意点
導入 5分	ローンやクレジット、奨学金の仕組み	夢をかなえるために必要な資金はどう準備したらよいだろうか？ ○夢をかなえるためにローンやクレジット、奨学金などの借入れを利用する注意や、金融トラブルの例や対処法を知る	・成年引き下げに伴い、18歳が金融トラブルの標的となりやすい。

	テーマ	学習活動(●は教師の活動、○は生徒の活動)	指導上の留意点
展開① 20分	【借りる】 ローン・クレジット、奨学金	(問)友達と海外旅行に行くので、年利(年間の金利)18%のリボ払いで30万円のツアー代金を支払いました。毎月5,000円ずつ返済する場合、返済には何年かかり、総額いくら返すことになるのでしょうか? (#76~77) ○返済額について考える。 ●「ローン・クレジット」の仕組みについて説明する(#70)。また、お金を「借りる」と一般的に利子(金利)が発生する(#71~73)ことを説明する ○借金の意義について考える ※ワーク1 ●お金を「借りる」ということは、将来の収入の先取りとなり、返済計画が大事だと説明する(#74~79) ○返済に金利がかかることを理解する。 ※ワーク2(1) ※ワーク2(2) (問)奨学金の利用を検討しよう(#80~84)	・借金シミュレーターを使って計算させてもよい ・住宅など高額なものを購入する際にお金を借りることで、自身の希望を早く実現させることもできる。ただし、お金を借りる際には、そのお金を返せるかどうか、よく考えてみる必要があることに気付かせる。 ・返済の金利を普通預金の金利と比較させて、その違いについて考えさせてもよい。
展開② 20分	【注意】 金融トラブル	金融トラブルを防止するにはどうしたら良いだろうか? ○最近のニュースなどで知っている金融トラブルを話し合う ●成年引き下げに伴い、18歳が金融トラブルの標的となりやすいため、金融トラブルの例や対処法を学ぶことを説明する(#86~88) ○金融トラブルを防止するためにはどうしたらよいか話し合う ●詐欺・多重債務・ヤミ金融・闇バイトなどの金融トラブル防止のポイントを説明する(#89~96) ※ワーク3(1)・(2) ●もし、トラブルにあってしまったら、相談先があることを説明し、一人で悩まず、早期に解決するよう指導する。 ※ワーク4 ○消費者ホットライン 188(いやや!)に電話することや、地方公共団体が設置している消費生活センターの相談窓口があることを知る ※ワーク5	・「絶対に儲かる」といった投資話で勧誘された結果、多額の損失が発生したり、投資したお金が返ってこないなどといったトラブルが生じている事例を紹介してもよい ・多重債務に陥る原因としては、生活苦や無計画な買い物、連帯保証人になることや、悪質金融業者の被害によるものなど、様々あることに触れてもよい。 ・#96は、発展的な学習内容であるため概要のみの説明でもよい。
まとめ 5分	本時の振り返り	●本時の学習を振り返り、これからの生活にどのように活かしていきたいか、ワークシートを記入させる。 ○ライフプランを立てる上で、ローンなどの借入れの仕組みを利用することの注意や、金融トラブルの防止についてことの重要性が理解できたか、振り返りながら自分の考えを整理する。	・実践に向けた計画を考え、工夫しようとしているか評価する

5. ワークシートの解答・解答例

ワークシート

未来を支える ローン・クレジットの理解と金融トラブルへの対策

年	組	番	名前
---	---	---	----

1. 友達と海外旅行に行くので、年利(年間の金利)18%のリボ払いで30万円のツアー代金を支払いました。毎月5,000円ずつ返済する場合、返済には何年かかり、総額いくら返すことになるのでしょうか？

① 答え ③	② 返済総額 約 77 万円	④ 返済期間 約 13 年
--------	----------------	---------------

2. ローンとクレジットの特徴

- (1) どちらも後から ① 返済 が必要な ② 借入れ

- (2) クレジットカードの返済方法と手数料の目安

①	返済方法 手数料	③ 1~2 回払い なし	④ 分割払い 11~15%	⑤ リボルビング払い 12~18%	⑥ キャッシング 15~18%
---	-------------	-----------------	------------------	----------------------	--------------------

- ② 奨学金とは 学費を ⑦ 給付 または ⑧ 貸与 する制度

3. 金融トラブル

- (1) 最近の金融トラブルにはどのような事例があるだろうか

- ・ 闇バイト
- ・ マルチ商法
- ・ ワンクリック詐欺 など

- (2) どうしたら金融トラブルを防ぐことができるだろうか

- ・ 楽しく儲かる話はない。
- ・ きっぱり断る。
- ・ 友人や知人からの紹介でも注意する。
- ・ 信頼できる人に相談する。
- ・ 安易に個人情報を SNS などに投稿しない。など

- (3) 借金返済のために他の金融機関から借金をすることを何というか

多重債務

4. 返済に困ったら

契約や消費者トラブルの相談窓口 消費者ホットラインの電話番号は

188(いやや)

5. 授業の振り返り

- | |
|-------------------------------------|
| (1) わかったこと・身についたこと
(省略) |
| (2) 今後、自分の生活にどのように活かしていきたいか
(省略) |

6. 参考資料

返済シミュレーション (日本貸金業協会)

<https://www.j-fsa.or.jp/personal/borrowing/diagnosis/loanlife/>

相談事例 (独立行政法人 国民生活センター)

<https://www.kokusen.go.jp/category/jirei.html>

被害にあったら | 消費者庁

https://www.caa.go.jp/policies/policy/local_cooperation/local_consumer_administration/damage/

未来を支える ローン・クレジットの理解と金融トラブルへの対策

年	組	番	名前
---	---	---	----

1. 友達と海外旅行に行くので、年利(年

間の金利)18%のリボ払いで 30 万円のツアー代金を支払いました。毎月 5,000 円ずつ返済する場合、返済には何年かかり、総額いくら返すことになるのでしょうか？

①答え

②返済総額

③返済期間

2. ローンとクレジットの特徴

(1) どちらも後から ① が必要な ②

(2) クレジットカードの返済方法と手数料の目安

①	返済方法 手数料	③ なし	④ 11～15%	⑤ 12～18%	⑥ 15～18%
---	-------------	---------	-------------	-------------	-------------

② 奨学金とは 学費を ⑦ または ⑧ する制度

3. 金融トラブル

(1) 最近の金融トラブルにはどのような事例があるだろうか

(2) どうしたら金融トラブルを防ぐことができるだろうか

(3) 借金返済のために他の金融機関から借金をすることを何というか

4. 返済に困ったら

契約や消費者トラブルの相談窓口 消費者ホットラインの電話番号は

5. 授業の振り返り

(1) わかったこと・身についたこと

(2) 今後、自分の生活にどのように活かしていきたいか